

おおた社会福祉士会会報

第91号

2017年(平成29年)3月7日発行

発行：おおた社会福祉士会事務局

責任者：平野 悟

連絡先：〒146-0082 東京都大田区池上7-13-14

電話・FAX 03-6410-6051

E-MAIL otachikukai@gmail.com



(メール配信への切り替えをご希望される方は、「お名前」と「メール配信希望」の旨をこちらまでお願いします。)

3回連続区民公開講座 盛況のうちに終了いたしました！

おおた社会福祉士会 塩原 匡浩

昨年秋からおおた社会福祉士会を挙げて準備をしておりました3回連続区民公開講座が、先日の2月26日を持ちまして、盛況のうちに終了致しました。延べ158名の方々をご参加され、アンケートにて様々な感想やおおた社会福祉士会への叱咤激励を頂きました。おおた社会福祉士会一同身が引き締まる思いであり、無事終了できましたことをこの場をお借りして、参加者のみなさま、関係者のみなさまに御礼申し上げます。そして最後まで気を抜くことなくやり切ったスタッフのメンバーに感謝いたします。もともとこのイベントは、大田区制70周年PR助成事業(平成28年度大田区地域力応援基金助成事業)にて助成金の交付を受け、おおた社会福祉士会主催(後援：大田区、大田区社会福祉協議会)として行いました。全体のタイトルを、大田区の地域力『住み慣れた街でいつまでも自分らしく暮らすには』とし、サブタイトルを、～法律・医療・福祉から学ぶ～として、大田区が誇る各界の第一人者3名に講師をお引き受け頂きました。



おた社会福祉士会としても初めて臨む大きなイベントでしたが、地域に貢献したいという強い思いで乗り切ることができました。第3回目の様子は J:COM チャンネル大田（おたケーブル TV）に取材され、翌24日にデイリーニュースで放映されました。 <https://youtu.be/dYcFuFGNwoQ>

第1回. 「これからの安心設計を考える！任意後見制度と家族信託契約を利用する」 2月1日（水）

講師：遠藤 英嗣 氏（弁護士・日本成年後見法学会常任理事・元蒲田公証役場公証人）



成年後見や相続に関する法制度は複雑で難しくハードルが高かったのですが、具体的な事例や方法を交えてたっぷり教えていただき聴講後は少し自分も賢くなった気がしています。パソコンの同時通訳の字幕は、講義を聞きながら文字でも追えるので、内容を理解するためにとっても効果的だったと思います。

特に、安易な書き換えが可能な遺言は認知症で判断力が低下してから書いた本人が不安になって取り下げってしまうことも考えられるので、簡単には解約できないよう家族間で信託契約を結ぶ方法があるというお話は、なるほどと思わず唖ってしまいました。

家庭裁判所の判断で選任される成年後見制度では本人の意志が十分尊重されにくいこと、未熟な後見人によって本人が家族のために用意していた資産を売却されてしまうことがあるなど成年後見制度にも問題点があるため、自分自身の意向がしっかり伝えられるうちに自分自身が信頼できる人を選んで契約する、任意後見制度の利用を推奨される遠藤先生のお話しに深く頷きました。同時に、被後見人の方々が上手く表現できないご意向を注意深く拾い上げられる職業後見人になりたいと感じました。報告者：おた社会福祉士会会員 加藤奈央

第2回. 「認知症に家族や地域はどう向き合うか。医療はどこまですすんでいるか。」 2月6日（月）

講師：水野 雅文 氏 東邦大学医学部 精神神経医学講座教授

認知症の定義や検査方法など基礎的な話からアルツハイマー病の治療最前線まで幅広くお話いただいた。やはりなるべく早く気付くことが大切ではあるものの別居家族は気づきにくく、過大に心配しているということもあるとのこと。

認知症の診断ができる医師であっても初めてお会いし鑑別すべき病態、疾患（うつ病、せん妄、幻想妄想状態、薬物による医原性精神障害）を意識しながら認知症の診断をつけるのは難しいようです。我々専門職として認知症の疑いのある方には普段の状況や行動などを把握した上、適切な情報を適切なタイミングで専門医へ繋ぐ役割を果たさなければならないと感じた。またアルツハイマー治療のアミロイドβの抗体を作る治験の状況など将来期待される認知症治療のための研究・報告には時間が経つのを忘れる程聞き入った。医学は進歩しておりアルツハイマー病の無い世界が実現されることを期待したいと思う。

報告者： おおた社会福祉士会会員 吉田悠吾



第3回. 「精神障害者が地域で安心して暮らせるために」 2月23日(木)

講師：川崎 洋子 氏（公社）全国精神保健福祉社会連合会（みんなねっと）前理事長

精神障害者って怖い、つい最近の事件でもマスコミはそう報道したように感じます。

でも、それは一部の人であり精神障害の方々、かなりまじめで優しい人であること、また、病気と障害を併せ持っており、病気の症状として幻聴、幻覚、妄想があり、人とのコミュニケーションが苦手な引きこもりになってしまう事や、障害という部分では、毎日の生活のリズムが取りにくく、昼夜逆転になり家族や友人との会話も少なくなり、服薬が止められず、怠薬すると急性増悪になるので、医療との関係が一生続くなど、家族や当事者が抱える問題を教えていただきました。

親亡き後、一人で自分らしく生きていく事が、家族の思いであり、その思いを叶えていくには、他障害との制度の格差をなくしていく事や、共生社会の実現が必要であることなど、川崎さんの人を思いやり、社会にいる様々な支援を必要としている方々にも目を向けた視点を学ばせていただきました。

社会福祉士として、当事者に寄り添い、本人が、どうしたいのか、自己選択と自己決定（アドボカシー）を支えていけるだけのマンパワーをつけていきたいと思う講演でした。

報告者：おおた社会福祉士会会員 大川邦幸



☆°・*:. . . . : * ° ☆°・*:. . . . : * ° ☆°・*:. . . . : * ° ☆

1 月定例会報告 次年度の活動計画についての意見交換
おおた社会福祉士会 会長 平野 悟

年があらたまり、平成29年度の活動計画を作成するのにむけて、今年の2～3月の講演会や定例会の活動も踏まえながら、フリーな意見交換をしました。

まず、生駒副会長が文京区での地区会の立ち上げの関係でプレゼンテーションしたおおた社会福祉士会の活動紹介の映像で、これまでの活動の概略を振り返りながら、自由に意見交換しました。

以下簡単にまとめさせていただきます。

■平成29年度定例会等で外部講師等を招いて研修等するテーマ

- ・子どもの貧困について。区で策定中のおおた子どもの生活応援プラン（大田区子どもの貧困対策に関する計画）。
- ・昨年参加者が最多だったのは8月のスクールソーシャルワーカーの講演。子どもの福祉の中でテーマをひろげてはどうか。
- ・区児童相談所などの複合施設などへのながれをきいてみたい。
- ・区の地域包括ケアの具体的な動きもきいてみたい。
- ・昨年11月定例会でご講演いただいたハウスオブジョイ事務局長兼副院長澤村信哉氏にその後の経過を（今年も秋に来日予定）

- ・今年度はLGBTなど先駆的な取り組みも取り上げられてよかった。
- ・成年後見については国の成年後見制度利用促進基本計画などの情報もききたい。
- ・認知症関連。たとえば今回の2月に区制70周年PR事業の講師に再度お願いしてみてもいい。
- ・災害支援チームなど東京社会福祉士会の活動をきいてみる。
- ・会員による事例報告、業務の研究発表。10～20分の報告をいくつかするのもいいのでは。
- ・会員相互で会員の活動近況報告を情報交換しながら、定例会で取り上げるテーマを考えたらどうか。
- ・今年度定例会（講演会等）の参加者が多くてよかった。年間の計画を早期にたてたのがよかったと思われるので、来年度の計画も早急にたてたほうがよい。
- ・定例会では外部講師をよんで講演会形式にすると会員以外の人も呼ぶ事ができて集客に繋がっている。

■定例会の日程、会場について

- ・現状の第3水曜日でよい。
- ・交通の利便、利用料、予約のとりやすさなどから、現在の消費者生活センターが原則適当。
- ・地域的とか、会場としては、大森地域とか、Lus大森も今後候補に入れてはどうか。

■おおた社会福祉士会の運営について

【会員から広く意見を聴取】

- ・役員以外の会員の要望、意見をどのようにくみとるのが課題。
- ・多くの会員にどのように会の運営にかかわってもらうようにするのも課題。
- ・入会間もない会員からの意見集約（FBの活用）にも努め、会員全体わけへだてなく参加できる形にしていけるとよい。若い年齢層や、女性からの意見も集約に努めたい。

【チーム制の活動について】

- ・今年度は事実上休止となったチーム制の活動（一定のテーマで会員がチームを編成しての活動）の整理をつける必要性はないか。
- ・成年後見などのテーマで研究的チームにしてはどうか。

【東京社会福祉士会、他団体との連携】

- ・東京社会福祉士会ではばあとなあが、地区ブロックでの動きになってきている。こうした動きに対応していく必要があるのではないか。
- ・くらし健康あんしんネット、保護司会、3月TS、DETなど、他団体との交流、協働がひろがってきてよかった。

【周年事業】 ・周年関係では平成31年8月1日が満25年となる。それに向けての計画も必要。

この日の定例会は参加者が少なかったことから、2～3月にいろいろな方法で会員からの意見を募集し、来年度の活動計画の作成につなげていくことを確認し、定例会を終了しました。

12月の忘年会では、予定人数を上回る会員の参加があったのに、今回の定例会は硬いイメージになって伝わったために参加者が少なかったのではと反省しています。（実際、そのあと近所の居酒屋での「新年会」は盛り上がりました。）定例会ののちに通常開催される懇親会も、会員相互交流の大切な場だと考えております。定例会の時間に間に合わない方は、懇親会からでもぜひご参加いただき、ご意見ご要望をお知らせください。（笑）

役員会からのお知らせ

◆1月役員会の報告（1月11日（水）午後7時～。MICS）

- ・1月定例会

- ・区民公開講座について
- ・定例会について（3月度）
- ・定期総会・懇親会について（4月19日（水））
- ・来年度年間計画について
- ・区民公開講座 区制70周年を迎えた大田区の地域力 住み慣れた街でいつまでも自分らしく暮らすには法律・医療・福祉から学ぶ
- ・こらぼ大森「こらぼの木に名札をプレゼント」事業評価
- ・来年度事務局（池上）の借用について

◆2月役員会の報告（2月21日（火）午後7時～。MICS）

- ・3月号の会報の内容について
- ・区民公開講座 区制70周年を迎えた大田区の地域力 住み慣れた街でいつまでも自分らしく暮らすには法律・医療・福祉から学ぶ
- ・定例会について（3月度）
- ・定期総会・懇親会について（4月19日（水））
- ・来年度の執行体制について
- ・来年度年間計画について

※役員会の会合では、定例会等の運営の検討、会報の編集会議や印刷封入などを行っています。どうぞご参加ください。（役割や作業をおしつけないでください。ご心配なく）

平成29年度おおた社会福祉士会定期総会・懇親会

平成29年度おおた社会福祉士会定期総会を下記の通り開催いたします。28年度の事業報告・決算の承認と29年度の事業計画・予算の審議をする重要な会議です。万障お繰り合わせの上、ご出席いただけますようお願い申し上げます。総会後には、例年通り懇親会を開催いたします。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日時：平成29年4月19日（水）

【総会】18：30～19：15 会場：大田区消費者生活センター2階 第6集会

【懇親会】19：30～21：30 2階肉バルノースマン 蒲田東口店 住所：大田区蒲田5-18-10 2F

HP：https://r.gnavi.co.jp/19kn4yh80000/ 費用：4,000円（税込）（当日お支払下さい）

〈問い合わせ〉おおた社会福祉士会事務局/E-mail：otachikukai@yahoo.co.jp 担当：吉田悠吾

※同封の総会・懇親会の出欠ハガキは、4月10日（月）までにご返送ください♪

なお、料理を予約している都合上、当日キャンセルは実費費用を頂戴いたします。

編集後記 もう少しで暖かな春がやって来る。この時期は七十二侯で言うと、3月6日が蟄虫啓戸（すごもりむしとをひらく）として、冬ごもりの虫が出てくる季節です。私も3回連続公開講座の司会を何とかやり切り、漸く新しい世界に踏み出す決心をいたしました。（塩）



※カラー写真を掲載した会報をおおた社会福祉士会のホームページで公開しています！こちらもぜひご覧ください！

⇒

<http://ota-amity.lovepop.jp/i>